

学校評価アンケート結果

ア 保護者アンケート結果

5 とてもそう思う 4 まあそう思う 3 あまりそう思わない 2 思わない 1 わからない

A 小学校全体について (%)

	評価項目【小学校全体の教育力について】	5	4	3	2	1
1	学校の教育活動や子どもの様子を、わかりやすく伝えている。	26.1	62.6	7.0	1.7	2.6
2	子どもにわかりやすい授業を工夫している。	41.7	47.0	5.2	0.0	6.1
3	子どもの安全確保・健康管理のための取組を十分行っている。	41.7	54.8	2.6	0.0	0.9
4	学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取組んでいる。	23.5	60.0	7.8	0.9	7.8
5	子ども一人一人が大切にされ、認められる学校になっている。	29.6	55.7	9.6	0.0	5.2
6	生命を大切にす心や、社会のルールを守る態度を教育している。	31.3	56.5	6.1	0.9	5.2
7	学校と家庭は、それぞれの役割を果たし、連携・協力している。	20.0	66.1	8.7	0.9	4.3

B お子さまについて (%)

	評価項目【お子さまについて】	5	4	3	2	1
1	子どもは、毎日楽しそうに学校へ通っている。	58.3	37.4	2.6	1.7	0.0
2	子どもは、学習内容がわかり、基礎的な学力が身についている	28.7	64.3	3.5	1.7	1.7
3	子どもは、学校での出来事をよく話す。	29.6	40.9	23.5	4.3	1.7
4	子どもは、誰にでもあいさつができています。	20.9	49.6	20.9	6.1	2.6
5	子どもは、給食の時間を楽しみにしている。	49.6	38.3	4.3	6.1	1.7

どの項目についても「そう思う」「まあそう思う」が85%を超えているが、「いじめをなくす」取り組みと、子どもについての「学校での出来事をよく話す」「誰にでもあいさつができています」がやや低く、もう少し、今後の取り組みを充実させていく必要がある。懇談会や学年、学校だよりで学校のタイムリーな話題を提供し、家庭との連携で改善されるよう連絡を密にしていきたい。

C あなたは、どんな子どもに育てたいと思っていますか。

(3つを選び記号でお答えください。その他を選んだ方は()に記入してください。)
全体で 300 % になります。

ア よく考える子	21%	イ 基礎学力が身につけている子	11%
ウ 自分から進んで行動する子	16%	エ やさしく思いやりのある子	69%
オ 自制心のある子	5%	カ 自分を大切にする子	12%
キ 友だちを大切にする子	35%	ク 違いを認められる子	5%
ケ 言葉を大切にする子	6%	コ あいさつを大切にする子	22%
サ 善悪の判断ができる子	41%	シ 自分のことが自分でできる子	16%
ス 最後までやり通す子	33%		

1番多いのは、「エ やさしく思いやりのある子」
2位は、「サ 善悪の判断ができる子」
3位は、「キ 友だちを大切にする子」

あなたは、 のような子どもに育てるために、どんなことをしたらいいと思っていますか。

・ 家庭で

1、「子どもの話をよく聞き、よく話し合う」
2、「親が手本になる」
3、「あいさつ、お礼、返事をさせる」
4、「他人の気持ちを考え、思いやる」
5、「よいところをしっかりほめる」
6、「善悪をきちんと判断させる」
7、「自分で決めたことは責任を持ってやり通す」
8、「規則正しい生活、整理整頓をさせる」

・ 学校で

1、「たくさんの友だちとの関わり方学ぶ」
2、「話し合い活動を大切に」
3、「人の話をよく聞く」
4、「集団でのルール、マナーを教える」
5、「たてわりなかよし活動、グループ活動、奉仕活動」
6、「人権教育、道徳教育」
7、「善悪の判断ができるように」
8、「個性に応じて適切にほめる」

学校は一人ひとりの子どもや保護者の願いを真摯に受け止めると共に、一人ひとりの思いにも対応できるようきめ細かく、取り組むことが必要である。子育てについて保護者の願いは、「やさしく思いやりのある子」が一番であり、人と人との繋がりを意識した保護者の思いが込められている。学校への期待も、「たくさんの友だちとの関わり方を学んでほしい」と望んでおり、本校の縦割りなかよし活動などで子ども同士の関わりを肯定していただいたと考える。学校の取組を十分に理解していただき、これからも、家庭の願いを常に念頭において、更に充実してよりよい教育に取り組みたい。

イ 児童アンケート結果 (平成24年度)

4	とてもそう思う	3	まあそう思う	2	あまりそう思わない	1	思わない
---	---------	---	--------	---	-----------	---	------

A 低学年

(%)

	こうもく	4	3	2	1
1	わたしは がっこうが たのしい。	67	30	3	0
2	わたしは ともだちと なかよくしている。	60	37	0	3
3	わたしは まいにちの べんきょうが わかる。	50	37	13	0
4	わたしは そうじを いっしょうけんめいしている。	50	47	3	0
5	わたしは きゅうしょくのじかんが たのしみだ。	83	13	4	0
6	わたしは だれにでも あいさつができる。	47	43	7	3
7	わたしはいえのひとにがっこうのできごとをよくはなす。	43	27	23	7

B 中学年

(%)

	こうもく	4	3	2	1
1	わたしは がっこうが たのしい。	61	35	4	0
2	わたしは 友だちと なかよくしている。	54	42	4	0
3	わたしは 毎日の べんきょうが わかる。	43	51	6	0
4	わたしは そうじを いっしょうけんめいしている。	35	57	6	2
5	わたしは 給食の時間が 楽しみだ。	74	9	17	0
6	わたしは 気持ちのよい あいさつができる。	39	48	13	0
7	わたしは かぞくに 学校のできごとを よくはなす。	48	24	20	8
8	わたしは いのちをたいせつにし 学校や社会のきまりを守っている。	56	39	4	1

C 高学年

(%)

	こうもく	4	3	2	1
1	わたしは がっこうが たのしい。	57	37	4	2
2	わたしは 友だちと なかよくしている。	65	35	0	0
3	わたしは 毎日の べんきょうが わかる。	35	63	2	0
4	わたしは そうじを いっしょうけんめいしている。	37	61	0	2
5	わたしは 給食の時間が 楽しみだ。	65	27	6	2
6	わたしは 気持ちのよい あいさつができる。	39	57	4	0
7	わたしは かぞくに 学校のできごとを よくはなす。	37	29	28	6
8	わたしは いのちをたいせつにし 学校や社会のきまりを守っている。	65	29	4	2

今回のアンケートからは、児童が概ね学校生活に満足していることが伺える。

特に、「学校が楽しい」や「友だちとなかよくしている」「べんきょうが分かる」については、高学年になっても高いポイントを維持している。このことは、日々の学校生活の中で友だちとの関わり方を学び、自他共に大切にされていると捉えられている児童が多いということの評価したい。

しかし、「気持ちのよいあいさつができる」については、児童はできていないと考えている児童は10%ぐらいであるが、保護者のアンケートでは30%ぐらいが子どもはあまりあいさつができていないと捉えており、児童と保護者の意識のズレが表れている。

また、児童の「かぞくに学校のできごとをよくはなす」では、低学年で70%、中学年で72%、高学年で66%となっており、保護者側の「子どもの話をよく聞き、よく話し合う」という家庭で大切にしていると考えているにも関わらず、低い結果になっている。日々の生活の中で、子どもから話す機会が少ないのか、保護者が聞いてあげるゆとりがないのか、追跡調査も必要であり、学校を仲介とした親子のコミュニケーションの促進を図っていきたいと考える。

全児童のどの子も、「わたしは、学校が楽しい」と言える学校作りをすることが私たち職員の願いである。そのために、どの子も友だちと仲良く過ごし、毎日の勉強がわかるようにする取り組みをさらに高めていくことが重要である。また、家庭生活の充実にも保護者が配慮してくよう、呼びかけていきたい。

今回の評価アンケートでは、肯定できる結果であったが、この現状に満足することなく、更に充実・改善する点を模索し、全職員をあげて取り組んでいきたいと考える。